

令和元年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

短期入所生活介護

姫路・勝原ホーム短期入所生活介護

令和元年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>利用者のケアに必要な情報を全員が共有出来る。</p>
<p>理 由</p>	<p>新規利用者や担当者会議後、急な状態変化があった時等には情報を記録に残し、情報の更新を継続してきたが、内容の周知を徹底させる事が不十分であった。その結果まだまだ利用者の状態に合わせたケアが行えていない現状がある。利用者の残存機能の維持、向上の為に、まず職員全員が必要な情報を把握し、本人の状態に合わせたケアを行えるように努める必要があるため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初回時状態確認表や担当者会議での決定事項、その都度変更のあった事項は記録に残してある為、その情報を該当者が利用している日の申し送りの際に口頭でも申し送り周知を図る。 2. 情報が更新された場合は連絡ノートに更新された利用者名を明記し、記録を確認するよう指示する。 3. 記録を確認したかどうかを確認する為に閲覧したらサインするようにする。更新された記録物の置き場所は固定してある。 4. 6ヵ月に1度情報の共有が出来ているかどうかの確認をする為に介護職員にアンケートを実施し把握状況を確認する。

令和元年度 事業報告

事業報告	<p>新規利用者に関する情報は、ミーティングや夜勤者への申し送りを通じて、情報の共有と共通認識が図れた。</p> <p>また、状態に変化がみられた利用者についても同様の対応を行うとともに連絡ノートに明記し、内容を確認した場合はサインするように関係職員に説明したことで情報の共有と共通認識が図れた。</p> <p>さらに細かな部分の情報の共有や全利用者分の情報を記憶することは難しいことから周知が図れるように書類作成時に情報を細分化するように現在も努めている。</p> <p>加えて、ショートステイ担当職員が特養職員に言葉をかけ、情報を発信していることで、大きなトラブルも無かった。</p> <p>6か月に1回、行っているアンケートにより職員の把握状況の確認と綿密な情報共有ができ、トラブル防止につながっている。</p>
事業運営総括	<p>令和元年度は年間平均稼働率が93.2%と前年度を1.7%上回った。入所や入院等によるキャンセルが例年より多く、稼働率が大きく低下した月もあったが、退所日と次の方の入所日の調整をする事や各居宅介護支援事業所へ情報提供すること、医療行為が必要な方も積極的に受け入れたことで、翌月には回復したため、年間を通して稼働率向上へと繋がった。</p> <p>しかし、更なる稼働率の向上と安定を図る為には入退所の調整をさらに上手に行う必要があるとあり、本人や家族、担当介護支援専門員と連携を重ねて、対応していきたい。</p> <p>平均介護度は2.9で前年度比0.04増とほぼ横ばいとなっている。さらに稼働率を上回るためには、利用者個別のニーズに応えていくことがポイントになることを踏まえ、利用者一人ひとりの情報を把握し、引き続き家族や担当介護支援専門員と情報共有をし、ニーズを意識した支援や関わりをすすめていきたい。</p>

苦情対応

受付日	苦情内容	解決方法
令和元年 6月12日	<p>「ナースコールの対応について」</p> <p>トイレに行きたくて、ナースコールを押したが、職員から無言で対応され、とても怖く、その後、押せなかったとの申し出がある。</p>	<p>①本人に不適切な対応を陳謝する。</p> <p>②同じことのないように全職員に対して、ミーティング等で接遇について、常に意識する事を繰り返し伝える事を本人に説明すると理解が得られた。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和元年 8月16日	<p>「右大腿骨転子部骨折」</p> <p>自力で起きようとした時に転倒し、右大腿骨転子部を骨折した。</p>	<p>①下肢筋力の低下がある利用者には起居動作時にはナースコールの利用を依頼する。</p> <p>②夜間帯は巡室時間の間隔を短縮し、回数を増やし、睡眠状態の把握に努める。</p> <p>③センサーマットを設置し、合図に応じて対応する。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.83》

令和2年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	0	0%
要支援2	0	0%
要介護1	7	15%
要介護2	13	26%
要介護3	15	31%
要介護4	7	15%
要介護5	6	13%
合計	48	100%

月間利用実績（人数）

令和元年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
要支援2	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護1	5	5	5	9	6	8	6	8	6	8	8	7	81
要介護2	9	10	9	11	8	8	8	15	12	13	15	13	131
要介護3	13	15	16	13	18	19	21	19	14	18	16	15	197
要介護4	14	13	12	13	14	12	11	9	8	7	7	7	127
要介護5	5	6	5	3	4	5	6	7	6	6	5	6	64
合計	47	50	50	50	51	52	53	58	46	52	51	48	608

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 93.2%》

令和元年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	2	2	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	9
要支援2	0	0	10	6	6	0	0	0	0	0	0	0	22
要介護1	40	38	42	57	46	42	41	54	44	70	69	53	596
要介護2	65	85	61	65	59	52	61	125	117	133	117	134	1,074
要介護3	165	155	226	226	234	232	196	180	178	185	152	169	2,298
要介護4	180	162	119	138	150	148	120	94	73	78	90	95	1,447
要介護5	58	80	37	30	28	56	60	62	68	77	68	69	693
合計	510	522	497	522	523	530	481	515	480	543	496	520	6,139

曜日別延べ利用実績

令和元年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計
人数	873	932	919	849	897	824	845	6,139
割合	14%	15%	15%	15%	14%	13%	14%	100%

1週当り平均利用人員

令和元年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計	1日平均
人数	16.4	17.5	16.3	16.3	17.2	15.8	16.2	115.70	16.53
割合	14%	15%	15%	15%	14%	13%	14%	100%	

年齢別構成状況

令和2年3月31日 現在

	65歳以下	65歳以上 から 70歳未満	70歳以上 から 75歳未満	75歳以上 から 80歳未満	80歳以上 から 85歳未満	85歳以上 から 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	2	1	1	3	2	2	11
女	0	0	1	6	10	7	13	37
全体	0	2	2	7	13	9	15	48

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	観桜会	計算・脳トレーニング 外出ドライブ・数字パズル	連想ゲーム ビンゴゲーム 棒体操
5月	つくし会との交流会 朱の会との交流会 若葉保育園との交流会	ちぎり絵・漢字トレーニング グ・点つなぎ・裁縫	都道府県ゲーム 連想ゲーム 北国の春体操
6月	ドライブ外出	塗り絵・脳トレーニング 珠算検定・神経衰弱	連想ゲーム ビンゴゲーム 水戸黄門体操
7月	七夕の飾りつけ	漢字トレーニング・裁縫 ちぎり絵・数字パズル	積み木ゲーム 連想ゲーム ボール体操
8月	納涼大会	ことわざクイズ・飾り作り ちぎり絵・パズル	競馬ゲーム 連想ゲーム 北国の春体操
9月	和太鼓交流会 寿会	カルタ・漢字トレーニング 塗り絵・点つなぎ	連想ゲーム 紙芝居 ゲーパ一体操
10月	吉備神社秋祭り ふくろうの会との交流会	脳トレーニング・裁縫 外出ドライブ・ちぎり絵	ボールゲーム 積み木ゲーム 新聞体操
11月	東坂老人会との交流会 勝原小学校との交流会 勝原地区ふれあい文化祭	漢字トレーニング・塗り絵 神経衰弱・カルタ	連想ゲーム 点取りゲーム 棒体操
12月	若葉保育園との交流会 クリスマス会	裁縫・飾り作り・珠算検定	食べ物集めゲーム 連想ゲーム 北国の春体操
1月	初詣 書初め	おたふく・脳トレーニング 飾り作り・折り紙	おたふくゲーム トランプ、カルタ ゲーパ一体操
2月	節分豆まき	塗り絵・裁縫・数字パズル カルタ・ことわざクイズ	連想ゲーム ボールゲーム 水戸黄門体操
3月	施設内レクリエーション	数字パズル 飾り作り・脳トレーニング	トランプ 連想ゲーム 新聞体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生会 世代間交流	飾り作り・塗り絵・パズル	足踏み・音楽による体操 リハビリ体操 連想ゲーム